令和3年度 事業報告

I 理事会報告

【開催状況】

	日 時	出席者			
		理事	監事	ガバナー	事務局
第1回	令和3年 5月25日(火) 14:00～16:00	20	3	1	2
臨時	令和3年 6月29日(火) 16:30～17:00	20	2	0	0
第2回	令和3年 7月27日(火) 14:00～15:30	20	3	0	2
第3回	令和3年 10月26日(火) 14:00～15:45	21	3	0	2
第4回	令和3年 12月21日(火) 14:00～15:00	19	3	0	2
第5回	令和4年 3月23日(水) 14:00～16:25	21	3	0	1

第1回

【協議事項】

- 1 令和2年度 事業報告(案)
- 2 令和3年度定時総会議案について
 - (1) 議案第1号 改選役員及び推薦委員会委員の選出について
 - (2) 議案第2号 令和4年度日本看護協会代議員及び予備代議員の選出について
 - (3) 議案第3号 令和2年度決算書(案)及び監査報告
- 3 令和3年度静岡県看護協会定時総会の運営方法の変更(案)について
- 4 令和3年度静岡県看護協会会長表彰候補者(案)について
- 5 静岡県看護協会会館管理及び使用規程の一部改正(案)

【報告事項】

- 1 令和3年度 静岡県委託事業の受託について
- 2 行政機関・関係団体の役員・委員の就任状況について
- 3 令和3年度会費納入状況

臨時

【協議事項】

- 1 会長(代表理事)及び副会長の選定
- 2 専務理事、常務理事の選定
- 3 会長の職務を代理する副会長の順序
- 4 専務理事の職務を代理する常務理事の順序
- 5 看護師職能理事の委員会委員長の選定

【報告事項】

- 1 令和3年度行事予定表
- 2 役員の認書等について
- 3 役員の損害賠償責任と免責

第2回

【協議事項】

- 1 令和3年度事業報告
総務部、教育研修部、事業部、ナースセンター
- 2 令和4年度定時総会の日時及び場所について

【報告事項】

- 1 令和3年度会費納入状況

第3回

【協議事項】

- 1 令和3年度中間事業報告
 - (1) 会務庶務報告
 - (2) 教育研修部報告
 - (3) 事業部報告
 - (4) ナースセンター報告
- 2 令和3年度中間会計報告

【報告事項】

- 1 訪問看護総合支援センター試行事業について
- 2 第10回静岡県看護学会 基調講演・シンポジウムについて
- 3 代表理事・業務執行理事の職務の執行状況報告
- 4 行政機関、関係団体の役員、委員の就任について
- 5 会員入会の申請状況 令和3年度会費納入状況

第4回

【協議事項】

- 1 令和4年度静岡県看護協会重点事項（案）
- 2 令和4年度教育計画（案）
- 3 令和3年度補正予算（案）

【報告事項】

- 1 令和3年度会費納入状況
- 2 令和4年度自民党県連・厚生問題対策連絡協議会への要望事項
- 3 令和4年度日本看護協会名誉会員・会長表彰候補者の推薦について
- 4 令和4年度年間行事予定

第5回

【協議事項】

- 1 令和3年度3月補正予算（案）
- 2 令和4年度重点事項及び事業計画（案）
- 3 令和4年度当初収支予算書（案）
- 4 「役員」補欠候補者選任（案）
- 5 「職能委員会」委員補欠候補者選任（案）
- 6 「委員会」委員補欠候補者の選任（案）
- 7 認定教育に関する規定等について（案）
- 8 訪問看護ステーション及び居宅介護支援事業者の運営規程の変更について（案）

【報告事項】

- 1 代表理事・業務執行理事の職務執行状況報告
- 2 行政機関・関係団体の役員・委員の就任状況について
- 3 令和3年度会費納入状況
- 4 令和4年度行事計画
- 5 令和4年度「看護の日・看護週間」記念行事開催について
- 6 新型コロナウイルス感染症に係る静岡県看護協会の活動

Ⅱ 常任理事会報告

【開催状況】

		出席者		
		理事	ワザバー	事務局
第1回	令和3年 4月20日(火) 9:30~12:30	6	4	2
第2回	令和3年 5月18日(火) 9:30~11:45	6	0	2
第3回	令和3年 6月15日(火) 9:30~12:15	6	3	2
第4回	令和3年 7月21日(水) 9:30~12:15	6	0	2
第5回	令和3年 8月17日(火) 9:30~12:15	6	0	2
第6回	令和3年 9月22日(水) 9:30~11:25	6	4	2
第7回	令和3年10月19日(火) 9:30~12:00	6	0	2
第8回	令和3年11月16日(火) 9:30~11:45	6	2	2
第9回	令和3年12月14日(火) 9:30~12:40	5	0	2
第10回	令和4年 1月18日(火) 9:30~12:30	6	0	2
第11回	令和4年 2月15日(火) 9:30~12:15	6	4	2
第12回	令和4年 3月15日(火) 9:30~12:05	6	0	2

第1回

【協議事項】

- 1 令和3年・4年度静岡県看護協会役員選挙候補者について
- 2 令和3年・4年度推薦委員会委員候補者について
- 3 令和4年度日本看護協会代議員・予備代議員候補者について
- 4 令和3年度 静岡県看護協会長表彰候補者について
- 5 令和3年度 定時総会進行予定表(案)について
- 6 令和3年度静岡県委託事業の受託について
- 7 第1回医療・福祉施設等看護代表者会議(案)について
- 8 研修室・会議室のレイアウトについて
- 9 第1回地区支部長連絡会議(案)
- 10 令和3年度「静岡県男女共同参画社会づくり活動に関する知事褒賞」被表彰候補の推薦について
- 11 令和3年度静岡県障害を理由とする差別を解消するための取組に関する表彰(知事褒賞)候補者について

【報告事項】

- 1 令和3年度会費納入状況
- 2 令和3年度日本看護協会代議員・予備代議員について
- 3 職能委員会報告
- 4 教育研修部報告
- 5 事業部報告
- 6 令和3年度ナースセンター事業計画について
- 7 入会促進活動に関する事業計画書

第2回

【協議事項】

- 1 令和2年度事業報告(案)
- 2 令和2年度決算書(案)
- 3 行政機関・関係団体の役員・委員候補者の推薦
- 4 第1回定時理事会(案)
- 5 臨時理事会(案)

- 6 役員委員研修会（案）
- 7 総会運営会議について
- 8 静岡県看護協会会館管理及び使用規程の一部改正（案）
- 9 新型コロナワクチン接種研修会開催について
- 10 地区支部会議（案）（新地区理事）

【報告事項】

- 1 静岡県看護協会会員数報告
- 2 職能委員会報告
- 3 教育研修部報告
- 4 事業部報告
- 5 ナースセンター報告
- 6 監事監査について

第3回

【協議事項】

- 1 令和3年度定時総会運営について（6/2 運営会議後の修正）
- 2 新型コロナワクチン接種研修会（追加分）について
- 3 訪問看護総合支援センター試行事業について
- 4 看看連携を基盤とした地域包括ケア推進支援事業について
- 5 令和3年度第1回地区支部会議（案）について
- 6 臨時理事会について
- 7 その他
 - ・令和3年度 役員・委員研修会

【報告事項】

- 1 令和3年度会費納入状況
- 2 職能委員会報告
- 3 教育研修部報告
- 4 事業部報告
- 5 ナースセンター報告
- 6 役員損害賠償責任保険について

第4回

【協議事項】

- 1 令和3年度事業報告
総務部 教育研修部 事業部 ナースセンター
- 2 令和4年度定時総会の日時及び場所について
- 3 第2回定時理事会 議案について
- 4 令和3年度役員・委員研修会開催について
- 5 令和3年度防災会議について
- 6 新型コロナワクチン接種に係る静岡県看護協会職員の休暇等の取り扱い（案）について
- 7 令和4年度実習指導者等講習会のeラーニング導入について
- 8 看護研究費助成金交付申請について
- 9 訪問看護総合支援センター試行事業について
- 10 看護の日・週間記念事業について
- 11 令和4年度日本看護協会代議員及び予備代議員の選出について

【報告事項】

- 1 静岡県看護協会会費納入状況

第5回

【協議事項】

- 1 令和4年度事業及び当初予算編成に向けての作業について
- 2 訪問看護総合支援センター試行事業について
- 3 健康観察および副反応勤務の非常勤看護師の時給及びリーダー手当について
- 4 令和3年度表彰候補者の推薦について
 - ・第50回医療功労賞(海外部門)
 - ・秩父宮妃記念結核予防保健看護功労賞
 - ・令和4年度中に満88歳になる高齢者叙勲潜在候補
 - ・第7回「山上の光賞」候補
- 5 令和3年度行事計画(再)

【報告事項】

- 1 令和3年度会費納入状況
- 2 総務部報告
- 3 教育研修部報告
- 4 事業部報告
- 5 ナースセンター報告

第6回

【協議事項】

- 1 令和4年度 重点事項・予算編成について
- 2 令和3年度 第1回委員長・地区支部長合同会議について
- 3 令和4年度 年間行事予定
- 4 訪問看護総合支援センター試行事業 事業計画
- 5 第10回静岡県看護学会 基調講演・シンポジウムについて

【報告事項】

- 1 令和3年度会費納入状況
- 2 新たな財政支援制度(地域医療介護総合確保基金)事業提案書について
- 3 山上の光賞・社会貢献者表彰・公衆衛生事業功労者に対する厚生労働大臣表彰候補者の推薦について
- 4 職能委員会報告
- 5 教育研修部報告
- 6 事業部報告
- 7 ナースセンター報告

第7回

【協議事項】

- 1 令和3年度第1回委員長・地区支部長合同会議
 - ・令和4年度 重点事項(案)
 - ・令和4年度 事業計画立案及び予算について
- 2 静岡県訪問看護管理者育成委員会設置要領(案)について
- 3 第10回 静岡県看護学会(案)について

【報告事項】

- 1 令和3年度会費納入状況
- 2 代表理事・業務執行理事の職務執行状況報告
- 3 職能委員会報告
- 4 令和3年度中間事業報告
 - (1)会務庶務報告
 - (2)教育研修部報告
 - (3)事業部報告

(4)ナースセンター報告

第8回

【協議事項】

- 1 第2回委員長・地区支部長合同会議（案）
- 2 地区支部長連絡会議（案）
- 3 令和3年度訪問看護管理者アンケート結果及び訪問看護管理者交流会（企画）（案）
- 4 令和4年度「看護の日・週間記念行事」について
- 5 令和4年度年間行事予定（案）
- 6 自衛消防訓練の実施について

【報告事項】

- 1 令和3年度会費納入状況
- 2 職能委員会報告
- 3 教育研修部報告
- 4 事業部報告
- 5 ナースセンター報告

第9回

【協議事項】

- 1 令和4年度 教育計画（案）
- 2 感染管理認定看護師教育課程開講に関して
・講師謝礼及び旅費支払内規・講師謝金一覧について
- 3 第4回定時理事会（案）
- 4 第2回医療・福祉施設等看護代表者会議（案）
- 5 静岡県看護協会・看護連盟合同研修会（案）
- 6 令和4年度日本看護協会長表彰候補者の推薦について報告
令和4年度日本看護協会名誉会員候補者の推薦について報告
- 7 令和3年度事業の補正予算（案）について
- 8 令和4年度事業部予算について
・訪問看護出向研修支援事業
・訪問看護総合支援センター事業（管理者育成委員会）
・看看連携を基盤とした地域包括ケア推進事業
・令和4年度 看護の日・週間の運営について
- 9 令和4年度 行事計画（案）

【報告事項】

- 1 令和3年度会費納入状況
- 2 職能委員会報告
- 3 教育研修部報告
- 4 事業部報告
- 5 ナースセンター報告

第10回

【協議事項】

- 1 令和3年度 第2回 医療・福祉施設等看護代表者会議
- 2 令和4年度会費収入予算について
- 3 公益社団法人静岡県看護協会講師謝礼及び旅費支払内規（案）
- 4 認定看護師教育課程規定（案）の制定に伴う委員会の設置について
- 5 第18回ヘルシー・ソサエティ賞候補者推薦について

【報告事項】

- 1 令和3年度会費納入状況

- 2 職能委員会報告
- 3 教育研修部報告
- 4 事業部報告
- 5 ナースセンター報告

第 11 回

【協議事項】

- 1 認定教育に関する規定の変更
 - ・認定看護管理者教育課程規則（案）
 - ・認定看護師教育課程規則（案）
 - ・認定看護師教育課程特定行為研修管理委員会細則（案）

【報告事項】

- 1 令和 3 年度会費納入状況
- 2 職能委員会報告
- 3 事業部報告
- 4 ナースセンター報告

第 12 回

【協議事項】

- 1 令和 3 年度 3 月補正予算（案）
- 2 令和 4 年度事業計画（案）
- 3 令和 4 年度当初収支予算書（案）
- 4 令和 4 年度看護協会関係予算 静岡県委託事業
- 5 認定教育に関する規定等について（案）
- 6 令和 4 年度「役員」補欠選挙候補者について（案）
- 7 令和 4 年度「職能委員会」補欠候補者について（案）
- 8 令和 4 年度「委員会」補欠候補者について（案）
- 9 訪問看護ステーション及び居宅介護支援事業所の運営規定の変更について
- 10 第 1 回看護協会・訪問看護ステーション協議会連絡会議について
- 11 令和 4 年度「看護の日・看護週間」記念行事開催について
- 12 令和 3 年度行政機関・関係団体役員・委員について
- 13 令和 4 年度行事計画（案）

【報告事項】

- 1 令和 3 年度会費納入状況
- 2 令和 3 年度代表理事・業務執行理事の職務執行状況報告
- 3 職能委員会報告
- 4 事業部報告
- 5 ナースセンター報告

Ⅲ 事業報告

○事業項目1 教育等看護の質の向上に関する事業

事業細目	内 容	
(1)人材育成を促進するための継続教育	①看護実践能力の育成	10 研修 (オンライン研修あり) 計 423 名受講
	②組織的役割遂行能力の育成	15 研修(オンライン研修あり 1 研修中止) 計 1050 名受講
	③自己教育の推進	1 研修 52 名受講
	④特別研修	1 研修 41 名受講
(2)資格認定教育	①認定看護管理者教育	
	・認定看護管理者教育課程ファーストレベル	23 日間 2 回 97 名修了
	・認定看護管理者教育課程セカンドレベル	33 日間 29 名修了
	・セカンドレベルフォローアップ実践報告 (令和 2 年度修了者)	23 名参加
(3)静岡県からの受託研修	①新人看護職員研修	
	・新人看護職員研修ー多施設合同研修ー(6 日間)	31 名受講
	・新人看護職員指導者研修 研修責任者研修(5 日間)	15 名受講
	・新人看護職員指導者研修 教育担当者研修(5 日間)	28 名受講
	・新人看護職員指導者研修 実地指導者研修(5 日間)	25 名受講
	②静岡県専任教員養成講習会	6 月 1 日～12 月 24 日(141 日) 26 名修了
	③看護職員実習指導者等講習会ー特定分野ー(7 日間)	13 名修了
	④重症心身障害児 (者) 対応看護従事者養成研修 (1 日半)	49 名受講
	⑤看護教員継続研修	
	・成長段階別研修(3 日間) オンライン	延べ 74 名受講
	・トピックス研修 (1 日) オンライン	39 名受講
	⑥高齢者権利擁護等推進事業「看護実務者研修」(2 日間) (オンライン)	
	11 月 26 日 (金) 27 日 (土) 看護協会	38 名受講
	⑦看護の質向上促進 1 日・半日研修	453 名受講 (1 日 243 名 半日 210 名)
	研修科目: 感染予防対策・医療安全対策・職業倫理と意思決定支援・フィジカルアセスメントと臨床推論	
	1 日: 東部	10 月 7 日 (木) 看護協会 (オンライン) 88 名受講
	中部	12 月 2 日 (木) 看護協会 (オンライン+集合研修) 76 名受講
	西部	11 月 10 日 (水) 看護協会 (オンライン) 79 名受講
	半日: 伊豆	10 月 21 日 (木) 看護協会 (オンライン) 8 名受講
	東部	8 月 5 日 (木) (オンライン+集合研修) 37 名受講
		12 月 11 日 (土) (オンライン) 19 名受講
	中部	8 月 14 日 (土) (オンライン+集合研修) 41 名受講
		11 月 4 日 (木) (オンライン+集合研修) 38 名受講
西部	7 月 24 日 (土) (オンライン+集合研修) 67 名受講	
認定看護師派遣型 OJT 研修		
・施設訪問型	1 施設 10 名参加	
・オンラインによるフォローアップ研修型	4 名×2 回開催	
⑧看護職員管理者の相互研修 (一部オンライン)		
「暮らしをつなげる看護職員のための研修」(4 日間)	81 名受講	
3 地区合同	7 月 13 日 (火)・7 月 14 日 (水) 看護協会	
東部	令和 4 年 1 月 13 日 (木) (オンライン) 31 名受講	
中部	令和 4 年 1 月 18 日 (火) (オンライン) 24 名受講	
西部	令和 4 年 1 月 25 日 (火) (オンライン) 26 名受講	

	<p>「組織における看護政策構築管理者研修」7月13日（火）（オンライン）81名受講</p> <p>⑨静岡県看護職員認知症対応力向上研修（オンライン） －認知症ケア体制構築推進者研修－（3日間） 令和3年10月7日（木）・16日（土）・17日（日） 81名受講</p> <p>⑩病院勤務の医療従事者向け認知症対応力向上研修（10回開催） 849名受講 （オンライン） 8月7日（土）午前90名 午後89名 10月3日（日）午前90名 午後43名 10月21日（木）午前96名 午後95名 11月11日（木）午前94名 午後95名 12月11日（土）午前83名 午後74名</p>
(4)看護研究	<p>①静岡県看護協会静岡県看護学会 令和4年1月15日（土） 開催場所：静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ 開催方法：ハイブリット形式 参加者173名 テーマ：看護のニューノーマル（新しい日常）を模索する －生活・地域を守る、つなげる－</p>
(5)学術研究振興支援	<p>①研究能力の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「看護研究の第一歩－研究テーマの絞込み－」（2会場） 【東部】7月10日（土）29名受講、【中部】6月23日（水） 36名受講 ・「看護研究の基礎－研究計画書にトライ－」（2会場）（3日間） 【東部】8月12日（木）・13日（金）・11月8日（月）一部オンライン 13名受講 【中部】7月28日（水）・30日（金）・11月20日（土） 11名受講 ・「効果的なプレゼンテーション技法」10月29日（金） 32名受講 <p>②看護研究倫理審査 1件</p>

○事業項目2 看護に係る調査及び研究並びに看護制度の改善への提言に関する事業

事業細目	内 容
(1)保健師・助産師・看護師業務に係る事業	<p>①保健師職能委員会 10回開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3職能合同交流会 10月2日（土）（オンライン） 56名参加 ・保健師・助産師合同交流会 1月14日（金） 30名参加 ・保健師研修会 2月23日（水祝）（オンライン） 25名参加 ・保健師活動指針の普及啓発 <p>②助産師職能委員会 13回開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3職能合同交流会 10月2日（土）（オンライン） 56名参加 ・保健師・助産師合同交流会 1月14日（金） 30名参加 ・新人助産師研修会 1月21日（金） 15名参加 ・助産実践能力強化研修－周産期領域の倫理的課題－7月10日（土） 14名参加 ・助産師職能集会 6月12日（土）（オンライン） 32名参加 ・助産師活動の広報事業「いいお産の日」 11月3日（水祝） グランシップ <p>③看護師職能委員会Ⅰ（病院領域） 年12回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3職能合同交流会 10月2日（土）（オンライン） 56名参加 ・准看護師研修会 5月29日（土）（オンライン） 38名参加 ・准看護師進学支援研修会 2月19日（土）（オンライン） 18名参加 ・中間管理者交流会 第1回 10月23日（土）（オンライン） 28名参加 第2回 1月22日（土）（オンライン） 25名参加 <p>④看護師職能委員会Ⅱ（介護・福祉関係施設・在宅等領域） 年11回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3職能合同交流会 10月2日（土）（オンライン） 56名参加 ・看護職員研修会 第1回 6月23日（水）（オンライン） 88名参加 第2回 11月20日（土）（オンライン） 149名参加 第3回 12月10日（金）（オンライン） 105名参加

(2) 医療安全の推進	①医療安全情報の発信 ・看護しずおかへ「医療安全推進のための取り組み」として医療安全情報を6回掲載
(3) 看護制度に関する事業	②医療・看護安全相談 相談件数：34名 相談者：看護職 8名、県民26名 ①准看護師の進学と資質向上への支援 ・看護師2年課程（通信制）に関する情報提供 ・修学金制度の周知 ②看護関連政策の充実 ・静岡県への要望 ・静岡県議会への要望 ・静岡県看護連盟との連携 ③特定行為研修受講者の増加に向けた広報普及と研修修了者の活動支援（県共催） ・特定行為研修に係る交流会～特定行為研修修了者が現場にいるメリット～ 令和4年1月12日（水）（オンライン） 参加者 158名 ・看護師特定行為研修 指定研修機関意見交換会 令和4年3月15日（火） 参加者 9 特定行為研修指定研修機関から16名 ④看護基礎教育における課題検討に関する研修及び情報交換会の開催（コロナ感染症拡大防止のため開催せず）

○事業項目3 看護職の労働環境等の改善及び就業促進に関する事業

事業細目	内容
(1) 働き続けられる職場環境づくりの推進	①看護職の労働条件・労働環境改善 ・第1回労働環境に関する研修会 「大人の発達障害を理解する」 8月21日（土） オンライン研修 157名受講 ・第2回労働環境に関する研修会 「ハラスメント対応について学ぶ」「新型コロナ禍のメンタルヘルス対策」 12月4日（土） 静岡県看護協会（オンライン研修） 61名受講 ・「ヘルシーワークプレイス（健康で安全な職場づくり）を目指して～みんなで取り組むステップ1～5～【JNA オンデマンド研修138】 オンデマンド活用研修 12月22日（水） 静岡県看護協会 11名受講 ・看護しずおかへ「医療安全推進のための取り組み」として医療安全情報を6回掲載 （再掲） ・ふじのくに医療勤務環境改善支援センターとの連携推進
(2) 看護職の確保・定着及び就業支援の推進	①ナースバンク事業 ・看護職離職時等届出制度の推進、eナースセンター登録と活用による就業促進 ・求人施設との連携強化（求人施設訪問：電話） ・ハローワーク等における移動相談（16カ所） ・施設参加によるミニ相談会（15カ所） ②潜在看護職員等再就業支援事業の強化 ・再就業支援コーディネーターによる退職時届出の管理と再就業支援 ・再就業研修（3日間）7回実施（中部3回、西部2回、東部2回）：91名受講 ・体験型再就業チャレンジ研修（病院・訪問看護ステーション）：受講者なし ・eラーニング再就業支援研修：102名受講※新人看護職員も対象としたが申込なし ・求人・求職マッチング強化 ・地域でつくる協働開催型就業相談会（ナースのお仕事フェア）：6地域で計画したが開催は1地域（コロナまん延防止等措置期間のため5地域中止） ・県外看護職・看護学生に静岡県への移住・地元就職の促進（県外の看護大学・専門学校への働きかけ：お仕事ガイドブック送付、静岡県主催の移住フェア3回参加） ・基礎看護技術演習（本所、東部・西部支所の3会場で実施：延177名受講） ※本所に看護技術シミュレーションコーナーの設置 ③看護職への進路選択の推進 ・看護学校等進路説明・相談会：県内看護師等学校養成所の紹介動画を作成、ホ

	<p>ホームページ上に掲載</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校生向け広報誌の発行：「ナースへ GO！進路編」希望の高校生へ 3,058 冊発送 ・看護職ころごし育成セミナー：3 会場で開催し、計 379 名の高校生が出席 ・小・中学生向け広報誌の発行にむけて準備 <p>④看護の心普及・啓発等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護の日・週間記念事業：11 月 3 日（祝）グランシップで開催、161 名の来場あり ・看護の出前授業（小・中学校、高等学校 67 回実施、6,929 名が受講） <p>⑤離職防止対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談機能の充実（悩み事相談：看護学生の就学継続・看護職の就業継続支援） ・県内看護師等学校養成所訪問/オンライン訪問（卒業生を対象に県の人材確保政策、看護協会、ナースセンター広報とキャリアサポート等説明）：希望のあった 12 校で実施 ・新人看護職員の施設内教育指導者との連携（新人看護職員離職防止に関する講演会）：82 名受講（36 施設） ・再就業者フォローアップ研修（開催(1 回)と近況伺いの葉書郵送) ・セカンドキャリアセミナー（東・中部で計 2 回開催：35 名受講） <p>⑥調査・情報提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・退職者（個人）調査：303 件回収 ・退職（施設）調査：県内病院を対象に実施、回収率 68.4% ・新人看護職員アンケート：200 床以上の病院 62 施設対象に実施 施設長回答率 58.0%、新人看護職員 218 名回答 <p>⑦ナースセンター事業の広報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ナースセンター専用サイトとメールマガジンの活用 ・ナースセンターだよりプラス発行（年 3 回） <p>⑧職員の資質向上に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員研修（年 2 回） <p>⑨「新型コロナウイルスワクチン接種業務」就業準備金給付申請書発行：979 件</p>
--	--

○事業項目 4 在宅ケアの推進及び支援に関する事業

事業細目	内容
(1) 訪問看護ステーション・居宅介護支援事業所の運営及び地域支援	<p>①協会立訪問看護ステーション・指定居宅介護支援事業所の運営 訪問看護実績：訪問看護利用者延数 7,475 名 訪問看護延件数 36,952 件 居宅介護支援事業実績：居宅サービス計画数 1,894 件 介護予防ケア計画数 39 件</p> <p>②地域支援（新型コロナウイルス感染症感染対策のため活動中止または縮小）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護ステーション清水・指定居宅介護支援事業所訪問看護 S/T 清水 介護者の会「さくらばしサロン」は対面を避け、はがき送付、電話にて状況確認、家族フォロー実施 ・訪問看護ステーション大東・指定居宅介護支援事業所訪問看護 S/T 大東 癒しのケアとして職員がハンドケアを体験、技術を習得 ・訪問看護ステーション掛川・指定居宅介護支援事業所訪問看護 S/T 掛川 スイートピー通信配布（利用者ご遺族へスイートピー通信を郵送） 夜間災害発生を想定した救護所訓練へ参加
(2) 市、地域包括支援センター等との連携協働	<p>①行政、看護・介護、福祉等多職種と連携した総合的支援による訪問看護サービスの提供促進のために、地域会議への出席</p> <p>②地域包括支援センターと訪問看護ステーションとの合同会議、研修会、医療・介護関係者の事例検討会の開催</p> <p>①訪問看護師養成講習会（一部オンライン） 「訪問看護 e ラーニング」を活用した訪問看護人材養成基礎カリキュラム</p>

(3) 訪問看護サービスの質向上及び人材育成

8月5日(木)・11月2日(火)・12月1日(水)・令和4年1月27日(木)
 静岡県看護協会 28名受講 集合研修4日間 実習2日間

- ② 看護職員管理者の相互研修
 「暮らしをつなげる看護職員のための研修」(再掲)
- ③ 訪問看護における「特定行為に係る看護師の研修制度」活用促進
- ④ 訪問看護出向研修支援事業(県受託)
 ・5病院・5訪問看護ステーションが参加

出向元施設名	出向先施設名	出向期間
藤枝市立総合病院	焼津北訪問看護ステーション	10月1日～12月31日
菊川市立総合病院	訪問看護ステーション小笠	10月1日～12月31日
すずかけヘルスケア ホスピタル	訪問看護ステーションいわた	① 7月1日～9月30日 ② 10月1日～12月31日
沼津市立病院	聖隷訪問看護ステーション千本	6月21日～9月17日
JA 静岡厚生連 静岡厚生病院	訪問看護ステーションはとり	11月1日～令和4年1月31日

- ⑤ 訪問看護職員の病院への交流研修事業
 ・9訪問看護ステーション 11病院、14名が参加

研修元施設名	研修先施設名	研修期間
聖隷訪問看護ステーション千本 (2名)	① 静岡県立静岡がんセンター	5日間
	② 沼津市立病院	10日間
ウエルライフ地域リハビリテーションセンター(2名)	① 磐田市立総合病院	2日間
	② 中東遠総合医療センター	2日間
訪問看護ステーションいわた(1名)	すずかけヘルスケアホスピタル	5日間
訪問看護ステーション清水(1名)	① 静岡市立清水病院	3日間
	② 静岡県立静岡がんセンター	3日間
訪問看護ステーション小笠(3名)	菊川市立総合病院	3日間
つどいのおか訪問看護ステーション (2名)	① 静岡赤十字病院	4日間
	② 静岡市立静岡病院	4日間
訪問看護ステーションはとり(1名)	JA 静岡厚生連静岡厚生病院	1日間
訪問看護ステーション富士見(1名)	すずかけヘルスケアホスピタル	2日間
焼津北訪問看護ステーション(1名)	藤枝市立総合病院	5日間

- ⑥ 訪問看護出向研修支援事業報告会及び訪問看護職員の病院研修事業報告会
 令和4年3月7日(月) 静岡県看護協会

- ・第1部 訪問看護出向研修支援事業報告会 51名参加
- ・第2部 講演会及び訪問看護職員の病院研修事業報告会 57名参加
- ・訪問看護出向研修支援事業報告書作成関係機関へ配布

- ⑦ 訪問看護総合支援センター試行事業(日本看護協会受託)

* 静岡県訪問看護ステーション協議会と共同実施

- ・訪問看護管理者育成委員会 4回開催
- ・訪問看護管理者育成委員会部会 8回開催
- ・「訪問看護管理者育成プログラム～共に学び共に成長するために～」を作成、静岡県下全訪問看護ステーションへ配布

- ① 静岡県看護協会・静岡県訪問看護ステーション協議会連携会議

- ・第1回 令和4年3月23日(水) 32名参加

(4) 訪問看護関係団体との連携

- ② 静岡県看護協会と静岡県訪問看護ステーション協議会と日本看護協会「訪問看護総合支援センター試行事業」を共同受託し、訪問看護総合支援センター機能強化に向け、訪問看護管理者育成委員会を4回開催(再掲)

- ③ 日本訪問看護財団との連携

○事業項目5 地域住民の健康の保持増進及び福祉の向上に関する事業

事業細目	内 容
(1) 地域看護活動の推進	<p>①8 地区支部の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちの保健室Ⅰ型は、一部感染対策及び相談者を特定し開催 Ⅱ型（イベント型）は、中止。 ＊まちの保健室等の公衆衛生活動事業（県の助成）の一部を変更し、県民に「健康作りカレンダー」「食生活カレンダー」を地域包括支援センターや病院窓口、老人福祉センター経由で県民に配布 ・災害看護地区研修は、感染状況を考慮し4地区で開催 ・可能な範囲で看護教室・マタニティスクールの開催 ・市民講演会の開催中止 ・いのちを大切にする授業、看護の出前授業（ナースセンターとの共催）の開催 ・看護の日・週間記念行事の開催 ・地域防災訓練の開催があった地区では参加 ・地域行政や関係団体との協議会、連絡会等への出席 ・地区支部集会・看護実践報告会（オンライン）開催 ・陸上大会、スポーツ大会等への救護派遣 <p>②病院・施設との看看連携・協働等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度看看連携を基盤とした地域包括ケア推進支援事業 3地域参加 「災害ボランティアナースの会 Koa ナース焼津」 「災害ボランティアナースの会 Koa ナース御前崎」 「災害ボランティアナースの会 Koa ナース牧之原・吉田」 キックオフの会 7月7日（水）開催 <p>③看看連携を基盤とした地域包括ケア推進支援事業として3地域参加し、災害ボランティアナース育成と登録制度への取り組みの実施</p>
(2) 他機関、団体との連携活動	<p>①しずおか元気応援フェア 開催中止</p> <p>②メディメッセ2021 開催中止</p> <p>③あざれあメッセ 静岡地区支部 オンライン開催のため参加せず</p>
(3) ストレス緩和への支援	<p>①「ケアする人のケア」 （新型コロナウイルス感染症対策のため活動中止または縮小） 各訪問看護ステーションにおける在宅でケアする人、看護・介護職員へのストレス緩和支援の実施</p>

○事業項目6 防災及び災害支援に関する事業

事業細目	内 容
(1) 防災対策に関する事業	<p>①防災計画に沿った活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災会議開催 ・衛星携帯電話の保守・活用 ・備蓄品の確保 <p>②静岡県総合防災訓練への参画 中止</p> <p>③地区支部における市町の防災会議への参画</p> <p>④災害看護フォーラムの開催 11月12日（金）（オンライン） 429名参加</p> <p>⑤看看連携を基盤とした地域包括ケア推進支援事業として3地域参加し、災害ボランティアナース育成と登録制度への取り組みの実施（再掲）</p>
(2) 災害時の看護支援活動の整備	<p>①災害支援ナース育成のための研修実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害看護地区研修の実施 4地区で開催 ・災害支援ナース育成研修の実施 <p>前半【JNA収録DVD研修】災害支援ナースの第一歩～災害看護の基本的知識～ 12月16日（木）・17日（金） 39名参加</p> <p>後半【講義・演習】災害支援ナースの実際（2日間）</p>

<p>(3) 日本災害看護学会</p>	<p>5月11日(火)・12日(水) 36名参加 ※R2年度未実施分 R3年度1月 開催中止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害支援ナースの登録・管理 登録者 375名 ・災害支援ナース登録者研修の実施 「災害看護フォーラム」への参加 11月12日(金)(オンライン) 429名参加 (内 災害支援ナース登録者 277名) ・災害支援ナース派遣後の交流会 10月29日(金) 21名参加 ②日本看護協会「災害時支援ネットワークシステム」による災害支援ナースの派遣合同調整訓練への参加 11月9日(火)～11日(木) ③災害支援ナース派遣に関するサポート体制の整備等 ④災害看護一般研修Ⅰ、Ⅱの実施 Ⅰ 6月25日(金) 67名参加 Ⅱ 開催中止 ⑤行政・他団体と連携した医療救護活動体制の構築 ⑥災害支援ナース備品の整備 ⑦看看連携を基盤とした地域包括ケア推進支援事業として3地域参加し、災害ボランティアナース育成と登録制度への取り組みの実施(再掲) ⑧感染管理認定看護師の派遣事業(令和3年度から病院協会に委託先変更) ⑨新型コロナウイルス感染症相談窓口 ⑩新型コロナウイルス感染症自宅療養者及び濃厚接触者健康観察事業(県受託) 令和3年4月1日～令和4年3月31日の実績 自宅療養者 153,234名濃厚接触者 57,310名 合計 210,544名の健康観察実施 ⑪新型コロナワクチン接種研修会開催(県受託) 東部・中部・西部地区3会場 各3回開催 合計9回開催 398名参加 ⑫新型コロナウイルスワクチン接種副反応相談窓口事業(県受託) 令和3年4月1日～令和4年3月31日まで 相談件数 延べ21,498件 ⑬新型コロナウイルス感染症入院待機施設看護師確保事業(県受託) 県内3入院待機施設稼働 令和4年2月15日～28日(14日間) 看護師25名従事 ⑭沖縄県へ看護職員派遣要請への対応(日本看護協会) 沖縄県内の宿泊療養施設へ 令和4年1月15日～2月13日 潜在看護師2名派遣(各2週間) <p>日本災害看護学会組織会員として協力</p>
---------------------	--

○事業項目7 その他・本会の目的を達成するために必要な事業
・公益目的事業

事業細目	内容
(1) 広報	<ul style="list-style-type: none"> ①広報委員会活動 <ul style="list-style-type: none"> ・「看護しずおか」年6回発行 ・モニター会議の開催 8月2日(月) ・看護関連情報及び看護協会事業活動の更新 ②県民及び他機関・他団体への広報強化 <ul style="list-style-type: none"> ・マスコミを通じた広報活動 ・看護協会パンフレットの作成・普及 ③看護の心普及・啓発等(再掲) <ul style="list-style-type: none"> ・看護の日・週間記念行事(再掲) ・看護の出前授業(再掲)
(2) 施設の貸与	看護に関する研修会等を行う関係団体への研修室・会議室の貸出

・収益事業等会計

(1) 会員・役員支援	①会員の福利厚生 ・各種表彰・受章候補者の推薦 ア 叙勲 令和3年春 瑞宝双光章 西郷美智子 (静岡県看護協会推薦) 瑞宝単光章 増田 澄 恵 瑞宝単光章 鈴木美恵子 イ 令和3年度日本看護協会会長表彰 齋藤伸子 永井茂子 沼倉町枝 増田良江 村松敬子 ウ 令和3年度静岡県看護協会会長表彰 野崎敦子 杉村千春 永井 梓 太田恵美 稲葉やす子 松前勝美 池谷綾子 勝間田敏宏 西岡恵美 爪田久美子 小野田弓恵 櫻井真理子 ・慶弔見舞 ・災害見舞 ②役員・委員の損害保険対応・日本看護協会「看護職賠償責任保険制度」の紹介
(2) 看護研究費助成	①看護研究費助成事業 1件 ②看護職員海外研究視察奨励助成事業 0件

・法人会計

(1) 協会組織の強化	①公益社団法人としての組織整備 ・諸規定の整備 ・地区支部活動の推進 ②会員数の増加促進 ・協会のしおり等の送付 ・看護学校行事等への出席 (入学式・卒業式祝電対応) ・退職会員への加入継続の奨励 ○会員の内訳と前年比較 (単位:名) <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th></th> <th>保健師</th> <th>助産師</th> <th>看護師</th> <th>准看護師</th> <th>総数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>就業者数</td> <td>R2</td> <td>1,727</td> <td>976</td> <td>34,536</td> <td>5,977</td> <td>43,216</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">会員数</td> <td>R3</td> <td>522</td> <td>873</td> <td>20,367</td> <td>680</td> <td>22,442</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>539</td> <td>847</td> <td>19,915</td> <td>702</td> <td>22,003</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">入会率</td> <td>R3</td> <td>30.2%</td> <td>89.4%</td> <td>58.9%</td> <td>11.3%</td> <td>51.9%</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>31.2%</td> <td>86.7%</td> <td>57.6%</td> <td>11.7%</td> <td>50.9%</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-left: 20px;">※就業者数は令和2年12月31日実施 静岡県医療従事者調査による。</p> ③新入会員研修会 6回開催 計508名参加 ④地区支部との支援と連携強化 ⑤活動拠点の整備・充実			保健師	助産師	看護師	准看護師	総数	就業者数	R2	1,727	976	34,536	5,977	43,216	会員数	R3	522	873	20,367	680	22,442	R2	539	847	19,915	702	22,003	入会率	R3	30.2%	89.4%	58.9%	11.3%	51.9%	R2	31.2%	86.7%	57.6%	11.7%	50.9%
		保健師	助産師	看護師	准看護師	総数																																			
就業者数	R2	1,727	976	34,536	5,977	43,216																																			
会員数	R3	522	873	20,367	680	22,442																																			
	R2	539	847	19,915	702	22,003																																			
入会率	R3	30.2%	89.4%	58.9%	11.3%	51.9%																																			
	R2	31.2%	86.7%	57.6%	11.7%	50.9%																																			
(2) 円滑な組織運営	①運営に関する会議 ・定時総会 6月29日(火) 静岡県看護協会 第1研修室 参加者 52名 委任状 18,139名 計 18,191名 ・理事会 5回開催 ・常任理事会 12回開催 ・医療・福祉施設等看護代表者会議 第1回 5月18日(火) (オンライン) 145名参加 第2回 1月19日(水) (オンライン) 93名参加 1月21日(金) (オンライン) 51名参加 ・委員長・地区支部長合同会議 第1回 10月19日(火) 24名参加 第2回 12月14日(火) 25名参加 ・地区支部長連絡会議 第1回 5月25日(火) 11名参加 第2回 12月21日(火) 24名参加 ・地区支部会議 7月19日(月) 20名参加																																								

IV 委員会報告

職能委員会

(I) 保健師職能委員会

委員長 土屋厚子

1 活動目標

- (1) コロナ時代の新しい生活様式による地域住民の健康増進を推進
- (2) 職域間の保健師の連携強化。
- (3) 会員拡大の推進

2 委員会開催 10回

3 活動内容

(1) 3 職能合同交流会（オンライン開催）

テーマ 「コロナ禍における意思決定支援」

日時 令和3年10月2日（土）13：30～16：00

参加者 56名

演者 井上朋子（県農業団体健康保険組合 保健師）

「コロナ禍における意思決定支援」

香月知美（静岡県立こども病院 助産師）

「意思決定支援とコロナ禍における当院の対応」

塚本ひとみ（静岡市立静岡病院）

「コロナ禍における意思決定支援 情報共有 “正しく恐れる、”

成岡桂子（社会福祉法人清和会 丸子の里）

「コロナ禍における特別養護老人ホームの取り組み」

(2) 保健師・助産師合同交流会

日時 令和4年1月14日（金）13：00～16：15

場所 静岡県看護協会 第1研修室

参加者 30名

講師 福島富士子（東邦大学 看護学部 教授）

「保健師・助産師の連携強化で母子を支えよう～病院から地域に繋ぐ～」

事例紹介 坪内志穂（順天堂大学医学部附属静岡病院 助産師）

「社会的ハイリスク妊婦の当院における地域連携の課題」

藤田佳澄（磐田市立総合病院 助産師）

「保健師・助産師の連携強化で母子を支えよう」

天野由美子（島田市健康づくり課 保健師）

「島田市版ネウボラ」

(3) 保健師研修会（オンライン開催）

日時 令和4年2月23日（水）13：30～15：00

参加者 25名

講師 浦田恵美（静岡県東部地域局危機管理課 保健師）

「懸念される巨大地震と日ごろの備え」

鈴鹿和子（静岡県看護協会 副会長）

「コロナ禍でも万全ですか？災害時の保健活動」

情報提供 青島やよい（磐田市健康福祉部健康増進課地域保健グループ長 保健師）

「コロナ禍における磐田市の救護所・避難所運営」

(4) 会員拡大

職能交流会、研修会において、保健師職能委員会活動を紹介し、入会勧奨も行い会員獲得に努めている。

4 今後の課題

新型コロナウイルスの感染が拡大する中で、保健師の働く環境は大きく変化している。そのため、職域間の連携強化が課題となっている。今後は、職域間の活動発表会の開催や with コロナ時代の生活習慣病対策の研修会を実施していく。併せて、会員拡大も推進する。

5 委員 6名

(保) 稲寿美代 佐原直美 井上朋子 服部雅子 栗田美千里 村上江利香
(担当理事) 土屋厚子

(Ⅱ) 助産師職能委員会

委員長 西郷美智子

1 活動目標

- (1) 妊産褥婦・新生児及び全てのライフステージの女性に、助産師のケアを提供するために、助産師の能力向上を図り、主体的に活動できるよう支援する。
- (2) 市民への広報やイベント等を通して助産師活動の周知を図る。

2 委員会開催 13回

3 活動内容

(1) 助産師職能集会 (オンライン開催)

日時 令和3年6月12日(土) 10:00~12:30

参加者 32名

講師 井本寛子 (日本看護協会 助産師職能理事)

「母子のための地域包括ケアシステム構築に向けての取り組み」

(2) 助産師実践能力強化研修会

日時 令和3年7月10日(土) 9:30~12:40

場所 静岡県看護協会 第1研修室

参加者 14名

講師 太田尚子 (静岡県立大学 看護学部 看護学研究科 教授)

「周産期領域での倫理的課題」

(3) 3職能合同交流会 (オンライン開催)

テーマ 「コロナ禍における意思決定支援」

日時 令和3年10月2日(土) 13:30~16:00

参加者 56名

※演者は保健師職能委員会報告に準ずる

(4) 「いいお産の日」イベント企画

日時 令和3年11月3日(水・祝) 12:00~16:00

場所 グランシップ10階

参加者 看護学生及び一般市民 150名程度

内容 助産師活動写真展 等

(5) 保健師・助産師合同交流会

日時 令和4年1月14日(金) 13:00~16:00

場所 静岡県看護協会 第1研修室

参加者 30名

講師 福島富士子 (東邦大学 看護学部 教授)

「保健師・助産師の連携強化で母子を支えよう～病院から地域に繋ぐ～」

各地域からの保健師・助産師の事例報告等

(6) 新人助産師研修会

日時 令和4年1月21日(金) 13:00~16:30

場所 静岡県看護協会 第1研修室

参加者 15名

講師 福島恭子（静岡県立大学 助産学部 講師）

「自分のキャリアパスを描こう」～もっと知ろう!! 助産師の魅力～

先輩経験談・グループワーク

片岡茉莉那（富士市立中央病院 助産師）

山本千晶（聖隷三方原病院 助産師）

4 今後の課題

助産師職能委員会では、母子のための地域包括ケアシステム構築に向けての取り組みが叫ばれている。さらに、コロナ禍における少子高齢化の中で、助産師のより細やかな切れ目のない母子への支援が必要とされている。しかしながらその活動は十分に行われていない現実である。助産師は今後どのような支援ができるか考えていくことが必要である。この時期において、周産期領域に携わる仲間との交流は、心強く励みになる。施設ごとの課題を抱えながらも、委員会で情報交換を行い問題解決に向けて必要な研修会を企画していきたい。

5 委員 6名

（助）鈴木早苗 岡本沙衣子 石井彰子 花田澄美 松本由賀里 木村希衣子

（担当理事）西郷美智子

（Ⅲ）看護師職能委員会Ⅰ（病院領域）

委員長 中澤範子

1 活動目標

- （1）コロナ禍という非常事態の中で、重要な役割を担う副看護師長・主任看護師が交流することで、その苦難を乗り越えるための方法を見出すための交流会を実施する。
- （2）3職能交流会を開催し、看護職同士の連携を強化する。コロナ禍で体験した意思決定の場を共有し、看護職の課題を発見する。
- （3）准看護師のスキルアップ、進学支援の場を提供する。

2 委員会開催 12回

3 活動内容

- （1）准看護師研修会（オンライン開催）

日時 令和3年5月29日（土）13:30～16:30

参加者 38名

講師 江間沙記（浜松医療センター 摂食・嚥下障害看護認定看護師）

「誤嚥をできるだけさせない食事ケアのコツ」

- （2）准看護師進学支援研修会（オンライン研修）

日時 令和4年2月19日（土）14:00～16:30

参加者 18名

講師 金川治美（神戸常磐大学短期大学部 看護学科 課程長）

「小論文の書き方」

内容 奨学金制度についての説明、ナースセンターの紹介

学校説明参加校 3校（弥富看護学校、静岡県立看護専門学校、東京衛生学園専門学校）

- （3）3職能合同交流会（オンライン開催）

テーマ 「コロナ禍における意思決定支援」

日時 令和3年10月2日（土）13:30～16:00

参加者 56名

※演者は保健師職能委員会報告に準ずる

- （4）中間管理者交流会（オンライン開催）

テーマ 「元気になろう 副看護師長！」

日 時 ①令和3年10月23日(土) 9:50~16:00
②令和4年1月22日(土) 9:50~16:00
参加者 ①28名 ②25名
講 師 市瀬博基(東京外国語大学 非常勤講師 社会人類学者)
「with コロナ時代におけるポジティブマネジメント」
内 容 グループワーク、認定看護管理者からのメッセージ

4 今後の課題

研修会、交流会はすべて Zoom を使用したオンライン形式とした。他施設の看護師と場を共有しディスカッションして得られる情報が少なくなるオンライン研修であるが、物理的に効率性は高まると思われるため、次年度も集合研修とオンライン研修を有効的に利用していく。

中間管理者研修は3年間実施し、困難な状況でも自らの役割を認識し管理者として自覚することで前向きに実践していくこと、今後の課題を見出すことができたと評価する。令和4年度は、地域包括ケアの重要性が高まる中、変化していく病院領域の看護師に求められる役割を担う外来看護師を対象とした研修会の実施と、他の職能委員会と連携し地域・在宅で生活する人達を支援する方法を見出す3職能委員合同交流会を企画していく。

5 委員6名

(看) 河野由佳子 杉山智美 杉山久美子 大庭希巳枝 山本和枝 渡辺富美
(担当理事) 中澤範子

(IV) 看護師職能委員会Ⅱ(介護・福祉関係施設・在宅領域)

委員長 戸田美也子

1 活動目標

- (1) その人らしく“生きるを支える”ために切れ目なく連携できる看護を強化する
- (2) 施設・在宅における看護師同志のさらなる情報交換・連携を推進していく

2 委員会開催 11回

3 活動内容

(1) 看護職員研修会 第1回(オンライン研修)

日 時 令和3年6月23日(水) 14:00~16:00

参加者 88名

講 師 ①間部 幸(順天堂大学医学部附属静岡病院 皮膚排泄ケア認定看護師)
「やってみよう!快適排便ケア」

情報提供①クリニコ(株)担当者「ビフィズス菌と腸内環境について」

②ネスレ(株)担当者「腸内環境と免疫力」

(2) 3職能合同交流会(オンライン開催)

テーマ 「コロナ禍における意思決定支援」

日 時 令和3年10月2日(土) 13:30~16:00

参加者 56名

※演者は保健師職能委員会報告に準ずる

(3) 看護職員研修会 第2回(オンライン研修)

テーマ 緩和ケアスペシャリストに学ぶ看取り

日 時 令和3年11月20日(土) 14:00~16:00

参加者 149名

講 師 森田達也(聖隷三方原病院 副院長 緩和指示治療科医師)
「患者・家族の声からみる緩和ケア」

(4) 看護職員研修会 第3回(オンライン研修)

テーマ 安全対策と最新見守り機器 ~ICTの活用~

日時 令和3年12月10日(金) 14:00~16:00

参加者 105名

講師 松井順子(静岡県看護協会常務理事)

「看護からみた身体拘束と安全対策」

情報提供 最新見守り機器の紹介(パラマウントベット(株)・(有)メイプル)

4 今後の課題

施設・在宅領域の看護師は多様な職場環境で働いていることから、抱えている問題や課題、悩みも様々である。対象となる看護師に対して切れ目のない連携づくりと日常の活動に活かせる情報提供をすることが看護の質の向上に繋がる。

また、対象者の勤務環境を考慮した時間帯等の開催が必要である。今年度は、オンライン研修にしたことにより参加しやすい環境の提供ができたのでこれを継続していく。

5 委員 6名

(看)片岡由里 成岡桂子 鈴木京子 鈴木江利子 多田みゆき 岡本佳子

(担当理事)戸田美也子

推薦委員会

委員長 江口洋子

1 活動目標

(1) 静岡県看護協会の理念の実現に向け、役員などの改選に伴う選挙の執行、日本看護協会総会代議員・予備代議員選出などにあたり、活動する

(2) 推薦に対しては透明性及び公平性を確保し、活力ある組織づくりを目指す

(3) 候補者の人権を尊重し立候補の届け出を考慮したうえで、開かれた公正な推薦を行う

2 委員会開催 4回

3 活動内容

(1) 公益社団法人日本看護協会代議員及び予備代議員の選出に関する推薦委員会内規と静岡県看護協会の定款・細則などの規定に基づく推薦委員会マニュアル、所掌範囲の確認

(2) 2023年度日本看護協会通常総会代議員・予備代議員の推薦

(3) 2022~2023年度役員など改選による、選挙候補者の推薦

(4) 2022~2023年度職能委員の推薦

4 今後の課題

(1) 日本看護協会通常総会代議員、予備代議員の応募に対して、看護協会事業に参画できる機会としての関心を高める企画と実践

(2) 推薦業務に対して、理事会などとの情報共有と連携強化

5 委員 8名

(保)三輪真知子 中西湖雪

(助)岩瀬和代 北堀昌代

(看)達家好美 一宮禎美 鈴木和美 江口洋子

(担当理事)青木春美

委員会

(I) 教育委員会

委員長 高橋円香

1 活動目標

- (1) 研修の目的を理解し、受講者の目的達成のために支援する。
- (2) 研修結果から受講者のニーズと企画意図を分析・評価する。
- (3) 研修ニーズを調査し、臨床現場で看護職にもとめられる知識・技術・態度を教育計画に反映させる。
- (4) 医療・看護の情勢や動向および前年度の研修評価を踏まえ、研修を企画する。
- (5) 一般研修で得られたデータや資料を今後の教育計画に繋げる。

2 委員会開催 9 回

研修開催 15 コース 21 日間 (令和 2 年度 持越含む)

3 活動内容

(1) 教育研修の企画・運営

研修 15 コース中 3 コースが新企画であった。COVID-19 の影響が懸念されたが中止することなく実施できた。

ア 看護実践能力の育成

- ・理解を深めよう！がん看護 基礎編 (1 日)
- ・おさえておきたい糖尿病看護の基礎 (1 日)
- ・＜New＞生活を支える摂食嚥下リハビリテーション看護－看護職の果たす役割－ (1 日)
- ・その人らしい人生の最終段階の実現に向けた看取り (1 日)
- ・みんなで考え、広めよう看護倫理 (2 日)
- ・看護をもっと深めたい人のために－中範囲理論を活用した根拠ある看護実践－ (2 日)
- ・臨床判断を OJT で活かして組織の看護力を高めよう (3 日)

イ 組織的役割遂行能力の育成

- ・教える人としての私を育てる (2 日)
- ・後輩育成に活かすコーチングスキル (1 日)
- ・＜New＞「看護師のクリニカルリーダー (日本看護協会版)」評価者育成研修 (1 日)
- ・最新の感染予防 高齢者施設・在宅における感染予防策の実践 (COVID-19 含む) (1 日)
- ・最新の感染予防 感染予防リンクナースの役割 (2 日)
- ・組織づくりに活かす看護倫理 (1 日)
- ・＜New＞小児の在宅療養を支援する看護職の役割 (1 日)
- ・＜令和 2 年度＞OJT トレーナー研修 I 教える人としての私を育てる 2 日目 (1 日)

(2) 研修後の評価

- ・研修 15 コース 21 日間、定員数 1030 名 応募者数 965 名、受講者 792 名であった。
- ・COVID-19 感染対策のため、オンライン研修へ変更した研修もあった。また、グループワーク、体験学習の方法を工夫し開催した。アンケート結果より、内容の理解度や研修の満足度、活用度について高い評価を得られていた。

4 今後の課題

- (1) 医療の動向・社会情勢を踏まえ、看護職に求められる役割を理解し、静岡県看護協会で開催する研修意義を明確にする。
- (2) 受講者のニーズに応えられるよう、新しい発想で学習材料を効果的に活用し、現場で活かせる魅力的な研修企画を行い、内容が伝わるよう発信する。
- (3) 受講者の安全を第一に考え、感染対策を徹底し、安心して受講できる学習環境の整備を継続して行う。

5 委員 8名

(看) 高橋円香 長坂信次郎 原 磨美 牧田美佳 鈴木美奈子 牧野仁美 大上規美子 大下理恵
(担当理事) 櫻井郁子

(Ⅱ) 広報委員会

委員長 石川弥生

1 活動目標

会員及び一般県民への看護協会活動の周知と、会員相互の情報交換を推進する。

2 委員会開催 11回

3 活動内容

(1) 「看護しずおか」を年6回発行

令和3年9月の委員会は、COVID-19の感染拡大防止のため中止となる。

Vol.1は、定時総会資料のみ掲載。「先人に聞く」は、Vol.3～6計4回の連載により熱意のある地域保健活動の歴史を知ることができた。シリーズ「人の一生を支える看護職」は、Vol.3～6へ掲載し12名の看護職が登場し、静岡県内で働く場の多様性を伝えることができ好評であった。

特集は、タイムリーなテーマを選択し、看護協会活動を周知できる内容を掲載した。Vol.2では、新型コロナウイルスワクチン接種研修会を静岡県から委託され看護協会が、東部・中部・西部で9回開催した状況を報告した。また、各施設で活躍している特定行為看護師3名を紹介し、多職種連携における看護職の存在価値を伝えることができた。Vol.4では、熱海市伊豆山土石流災害における、県内の保健師や災害支援ナースの健康支援活動報告を掲載し反響を得た。Vol.5では、看護の日・看護週間、いいお産の日のイベントが同時開催され、看護を県民に伝えた内容を掲載した。また、平成28年度～令和3年度、26地域包括ケア推進圏域活動を紹介します。静岡県内各地で展開される「看看連携を基盤とした地域包括ケア推進支援事業」の発展を掲載した。毎年企画している「看護職として働き始めて」「がんばる看護職夫婦」は、身近な仲間が登場することで「看護しずおか」を読んで頂くことができた。今年度は、7名の委員の中で4名が交代したが、新たな視点で楽しく活動することができた。

(2) モニター活動

各職能委員会から推薦されたモニター11人より「看護しずおか」各号に対して、アンケート形式で意見や感想を頂いている。また、年1回(8月2日)会議を開催し、意見・情報交換を行い、広報誌を作成するための助言を受けた。

4 今後の課題

看護協会活動や医療・看護の情報提供の充実を図ると共に、幅広い方々の意見を聞き、興味深く読みやすい紙面作りに努めていく。

5 委員 7名

(保) 杉山真澄 中村康恵
(助) 齊藤佐知子 藤原依子
(看) 萩山裕美子 西島憲一 石川弥生
(担当理事) 青木春美

(Ⅲ) 災害看護対策委員会

委員長 小梁はるみ

1 活動目標

(1) 災害対策に関する意識の啓発を図り災害支援に関する事業を推進する。

- ア 災害支援ナースの育成事業の実施及び構築をする。
- イ 地区支部と協力し、恒常的に地域住民に対し減災の啓発及び支援をする。
- ウ 会員に対して、災害に関する意識の啓発を図る。

2 委員会開催 9回

3 活動内容

(1) 災害支援ナース育成研修 【後半】 災害支援ナースの実際

日 時 令和3年5月11日(火) 9:30~16:30

令和3年5月12日(水) 9:30~16:30

場 所 静岡県看護協会 第1研修室

目 的 災害看護の特殊性を理解するとともに、専門的知識・技術を習得し、被災者及び被災地域のために、災害支援ナースとして活動できる実践能力を習得する。
災害支援ナースとして参加する上で自己完結の心構えと行動、そして必要な準備について習得する。

内 容 災害看護の基本 災害支援ナースの実務編
被災地における協働について
被災者・支援者への心のケア

参加者 36名

講 師 山崎達枝(長岡崇徳大学看護学部 准教授)

(2) 災害看護一般研修 I

日 時 令和3年6月25日(金) 13:30~16:40

場 所 静岡県看護協会 第1研修室

参加者 67名

目 的 災害に関する意識の啓発を図る

内 容 災害の基礎知識 静岡県の地震リスクと被害想定ほか

演習: 災害被災時の対応や行動を自らの問題として考える『クロスロード』

講 師 鈴木麻友子(静岡中部地域危機管理課 主任)

望月俊明(駿甲会コミュニティホスピタル甲賀病院 看護副部長)

川島直樹(駿甲会コミュニティホスピタル甲賀病院 DMAT 隊員)

(3) 災害看護一般研修 II

日 時 令和3年10月30日(土) 中止

令和4年2月21日(月) 中止

※ 10月の研修は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため2月に延期したが開催できず。

(4) 災害支援ナース派遣後の交流会

日 時 令和3年10月29日(金) 13:30~15:30

場 所 静岡県看護協会 第1研修室

参加者 熱海市伊豆山地区土石流災害に派遣された災害支援ナース40名中 21名

目 的 災害支援ナースとして派遣された仲間と語り合い、思いを共有する。

内 容 小グループでの話し合いとグループごとの発表

講 師 災害看護対策委員会委員

(5) 災害看護フォーラム

日 時 令和3年11月12日(金) 13:30~16:30

場 所 静岡県看護協会 オンライン

参加者 429名(災害支援ナース登録者 277名、会員 162名)

目 的 近年、台風やゲリラ豪雨による風水害が日本全国で発生している。人命を守るために看護職はどのように備えれば良いか自然災害に対し経験知から学び、行動について考える。

※本フォーラムは令和3年度災害支援ナース登録者研修を兼ねる

内 容 コロナ禍の災害医療

ダイヤモンドプリンセス号からクラスター対応までを安全管理を中心に振り返る

講 師 高橋善明(浜松医科大学医学部附属病院 救急部 日本DMATインストラクター)

(6) 災害支援ナース育成研修【前半】 災害支援ナースの第一歩 (JNA収録DVD研修)

日 時 令和3年12月16日(木) 9:30~16:30

令和3年12月17日(金) 9:30~16:30

場 所 静岡県看護協会第1研修室

参加者 39名

目的 災害医療の基礎知識を学ぶ

4 今後の課題

- (1) 新型コロナウイルス感染症拡大防止の中で挙げた課題を含め、災害支援ナース育成研修の検討と再構築
- (2) 災害に関する地区支部活動との協働
- (3) 災害看護支援マニュアルの改訂

5 委員 6名

(看) 小梁はるみ 野邊あゆみ 加茂知美 増田睦代 服部洋美 深澤眞由美
(担当理事) 青木春美

(IV) 働き続けられる職場づくり推進委員会

委員長 市川幸子

1 活動目標

看護職が健康で安全・安心して働き続けられるために、労働環境の整備と医療安全を中心に研修などの啓発普及並びに交流活動を実施する。

2 委員会開催 12回(8月はオンライン会議)

3 活動内容

(1) 第1回労働環境に関する研修会

テーマ 大人の発達障害を学ぶ～一緒に働くための関係づくり～

日時 令和3年8月21日(土) 9:30～12:30

場所 静岡県看護協会 オンライン研修

参加者 157名(看護者)

講師 福島一成(藤枝市立総合病院 心療内科部長・がん支援センター部長・精神科科长
臨床心理室室長)

目的 多様性尊重の時代において「発達障害」という個性を理解し、職場で一緒に働くための関係づくりを学び、働き続けられる職場環境を整えることができる。

内容 ・発達障害とは何か、自閉症スペクトラム障害の特性、障害、二次障害、治療と援助
・発達障害児の思いとアクションシナリオ
・症例から学ぶ自閉症スペクトラム障害者の思いと対応方法

(2) 第2回労働環境に関する研修会

テーマ ヘルシーワークプレイス(健康で安全な職場)の推進

① ハラスメント対応について学ぶ

② コロナ禍におけるメンタルヘルス対策

日時 令和3年12月4日(土) 9:30～12:30

場所 静岡県看護協会 オンライン研修

参加者 61名(看護者)

講師 三木明子(関西医科大学看護学部・看護学研究科 教授)

目的 ・看護者自身が被害者にも加害者にもなり得るハラスメントについての正しい知識を学び適切な対応ができる能力を習得する。
・新型コロナウイルス感染者に対応する看護者がメンタルヘルスケア対策を学び、心身共に健康に働くことができる。

内容 ・暴力ハラスメントを取り巻く社会の動き
・コロナ禍のストレスとハラスメント、コロナ禍でのメンタルヘルスケア
・患者からの暴力などの被害実態と暴力ハラスメント対策
・パワーハラスメントの被害実態と労働施策総合推進法改正について
・ハラスメントのない職場環境、ハラスメント予防と解決に向けて

(3) 広報

目的 「看護しずおか」に医療安全情報を掲載(6回)することにより、医療安全の推進を図る。
掲載内容は、「公益社団法人 日本医療機能評価機構 医療安全情報」が広く周知されるよう重要と判断した内容を主に抜粋した。

4 今後の課題

看護職が健康で安全・安心して働き続けられるためには、労働環境の整備と医療安全を中心に研修などの啓発普及並びに交流活動は重要な取り組みであり、次年度も継続が必要である。また、次年度には、看護協会が推進している、ヘルシーワークプレイスを念頭に、静岡県内の医療機関の労働環境についての調査を実施することと、看護の現場で起こっている問題などを把握し、そのニーズに即した取り組みを検討していく。

5 委員 6名

(助) 市川恵美子

(看) 市川幸子 渥美直美 上田理恵子 松井千賀子 米津苗子

(担当理事) 松井順子

(V) 学術研究推進委員会

委員長 片山はるみ

1 活動目的

本委員会は、静岡県看護協会の教育目的・目標に基づき、看護の質の向上を図ることにより人々の健康と福祉に貢献するため、看護研究の推進と研修事業の充実を図ることを目的としている。

2 委員会開催 9回

3 活動内容

(1) 第10回 静岡県看護学会の開催

日時 令和4年1月15日(土) 10時～16時30分

場所 静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ10階(ハイブリッド開催)

参加者 215名(関係者含む) オンライン85名+ 一般参加者88名+関係者42名

テーマ 看護のニューノーマル(新しい日常)を模索する ー生活・地域を守る、つなげるー

発表演題 口演 12題

基調講演 看護のニューノーマルに期待される私たちの実践

～新型コロナによって再認識された看護の専門性とその未来～

講師 鈴木みずえ(浜松医科大学)

指定発言 佐藤文恵(有現会社 きちっと)、森山寿伸(中東遠総合医療センター)

座長 片山はるみ(浜松医科大学)

シンポジウム 生活・地域を守る、つなげる

シンポジスト 加藤智子(聖隷浜松病院)

安富由紀(静岡県立静岡がんセンター)

稲葉一代(訪問看護ステーションいほら)

松下由紀(磐田市南部地域包括支援センター)

座長 増田誠一郎(静岡県立総合病院)

書籍展示 1社

(2) 「看護研究の第一歩」 東部・中部地区で開催 各1日(受講者計65名)

ア 7月10日(土) 順天堂大学 三島キャンパス 29名

講師 小川典子(順天堂大学 保健看護学部)

イ 6月23日(水) 静岡県看護協会 36名

講師 白尾久美子(日本福祉大学)

(3) 「看護研究の基礎」 東部・中部地区で開催 各3日間(受講者計24名)

ア 8月12日(木) 13日(金) オンライン、11月8日(月) 順天堂大学 三島キャンパス 13名

講師 近藤ふさえ、岩清水伴美、酒井太一(順天堂大学 保健看護学部)

イ 7月28日(水)30日(金)、11月20日(土) 静岡県看護協会 11名

講師 白尾久美子(日本福祉大学)

(4)「効果的なプレゼンテーション技法」(受講者計 32名)

日時 10月29日(金)

場所 静岡県看護協会

講師 坂尾英明(株式会社メディカルクリエイト)

(5) 静岡県看護協会看護研究費助成金交付事業

2件の申請があったが1件は書類不備で却下し、1件は委員会で審査し、常任理事会において承認された。

4 今後の課題

(1) 学会の内容の質の向上と充実を図る。

ア 査読者から、研究者自身が研究課題に向けてより質の高い研究が創出できるよう、査読用のチェック項目を設け、査読者と数回のコメントのやりとりを行う。

イ 看護研究に関する倫理的配慮とその記載方法を徹底する。

ウ 演題数の増加を図る。

・本委員会の研修を学会発表に繋がられるように支援する。(研修後アンケートを活用し、支援方法の検討)

・機関紙「看護しずおか」、県看護協会ホームページへの掲載、県看護協会主催の研修時にスライド映写を実施するなど看護学会を広範囲に広報する。

エ 参加者の増加を図る。

・学会テーマやシンポジウムなどで、臨床現場の状況に則したテーマを選択し、企画する。

・積極的に、広範囲に広報する。

・未知の感染症対策や参加者の利便性を考え、ハイブリッド形式を検討する。

オ 学会参加者に満足いただけるように、ホスピタリティーのある対応を心がける。

カ 口演発表と、示説の両方に参加できるようにプログラムを企画する。

(2) 研究に繋がる系統的研修を実施する。

・「看護研究の第一歩」、「看護研究の基礎」、「効果的なプレゼンテーション」の3つの研修が看護研究に繋がるような、系統的な研修となるように計画する。

(3) 看護実践の中にある研究動機を大切にして、臨床での研究活動が活性化されるよう、看護研究費助成金交付事業について広報する。

5 委員 6名

(助) 加藤智子

(看) 片山はるみ 横井志保 加藤京里 遠藤和代 増田誠一郎

(担当理事) 櫻井郁子

特別委員会

(I) 認定看護管理者教育運営委員会

委員長 佐藤直美

1 活動目的

認定看護管理者教育課程の運営のための検討を行い、教育機関として質の維持・向上を図る。

2 活動目標

(1) 様々な受講ニーズを踏まえ、各教育課程の開講の企画・運営について検討する。

(2) ファーストレベル・セカンドレベル・サードレベル教育課程を開講する。

(3) 静岡県内の認定看護管理者の活動を支援する。

3 活動内容

(1) 委員会

- ア ファーストレベル・セカンドレベルの運営と評価
- イ セカンドレベルフォローアップ実践報告の運営と評価
- ウ 令和3年度の教育課程開催要綱及びカリキュラムの検討（ファースト・セカンド）
- エ 令和4年度の教育課程開催要綱及びカリキュラムの検討（ファースト・サード）

(2) 教育課程の運営

ア ファーストレベル教育課程

- ・開講期間 令和3年6月1日～7月29日（受講者49名）126時間（23日間）
令和3年9月1日～10月28日（受講者47名）126時間（23日間）
- ・定員 6月と9月の定員は各期50名ずつの100名
令和2年度1月COVID-19により、受講延期となった受講者の救済処置の対象となった70名と、令和3年度応募者85名のうち30名を選考し、各期50名ずつとした。
- ・修了結果 令和3年度6月（49名）、9月（47名）の全受講者96名と、令和2年度1名の修了を承認した。

イ セカンドレベル教育課程

- ・開講期間 令和3年8月6日～11月25日 183時間（32日間+実習1日）
- ・定員30名 応募者40名 受講者29名（1名辞退） 修了者29名
- ・県内認定看護管理者11名に講師とコーディネーターを依頼した。
- ・修了結果 受講者29名について修了を承認した。

ウ セカンドレベルフォローアップ研修

- ・開催日 令和3年7月21日 6時間（1日間）
- ・対象 令和2年度セカンドレベル修了者23名が参加した。
- ・取り組んだ実践内容は「人材育成」が多く、「看護体制の見直し」「退院支援」「多域連携」などであった。

(3) 静岡県内の認定看護管理者の活動の支援

- ・静岡県内の認定看護管理者を講師または、演習支援者として登用する。

4 今後の課題

- (1) 今年度はCOVID-19によりオンラインによる講義を半数以上の日数で実施した。感染対策に重点をおきつつ、効果的な授業が展開できるように、特にグループワークでの情報共有や質疑応答を丁寧に行った。本年度の講義の評価は例年通り高かった。オンライン研修は、感染の蔓延などで集合研修が不可能な場合は、研修を中断することなく安全、安心して運営できるツールだと考える。
- (2) 認定看護管理者教育課程への受講者の多様化に応じた、様々な受講ニーズへの対応が必要である。

5 委員 6名

- (保) 佐藤直美
- (看) 平野一美 杉山由香 田中ひとみ 鈴木美恵子 松井泰子
- (担当理事) 櫻井郁子

(II) 看護の日・週間企画実行委員会

委員長 牛ノ濱千穂子

1 「看護の日」事業目的

- (1) 事業目的：「看護の心」の普及啓発を通じて、県民の一人ひとりが看護について関心を持ち、理解を深めることで、幸せな長寿社会づくりを目指す。
- (2) 「看護」について考える機会を提供することで、看護のイメージアップを図り、人材の確保・定着に結び付ける。

2 委員会開催 8回

3 活動内容

テーマ 「看護の心をみんなの心に」

サブテーマ 「看護っていいよ。～応援ありがとうございます～」

コロナ禍で看護職が感じている思いをテーマとして「看護の心」を大切に、看護職は、今までもこれからも、自分の仕事に誇りを持ち、その実践（行動、言葉）で看護を伝えていく。

日時 令和3年11月3日（水祝） 12:00～16:00

場所 グランシップ10階（展望ロビー、103会議室）

担当者 実行委員7名、ナースセンター2名、看護協会1名、県担当1名

来場者 161名

内容

(1) 展示

- ・県内中部地域で働いている看護職の紹介：パネル
- ・昭和初期の看護師・看護学生 憧れのナース服の歴史（昭和～平成）：パネル

(2) 動画

- ・日看協作成のDVD（ナースストーリー）、病院紹介（各施設）のDVD

(3) 看護職の就業・進路相談

4 まとめ及び今後の課題

アンケート結果：来場者の年齢層は10歳代から60歳代で10歳代115人中94人は「こころざし育成セミナー参加者」でそれ以外の参加者は67人（全体の41.6%）だった。

居住地は静岡市内94人（58.4%）静岡以外58人（36.0%）記入なし9人（5.6%）であった。写真展示は来場者の評判が高く、写真を見て楽し気に感想を伝え合う姿が見受けられ、パネル写真から活き活きと働く看護師や学生の姿が伝わったと思う。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、5月を11月に延期し「育成セミナー」「いいお産の日」と同時開催し、感染対策を徹底しながら規模を縮小して展示中心の内容で行ったが「中部地区の看護の今」を伝えることができた。

高校生対象のセミナーを同時開催したことで、看護の魅力を感じ取った高校生達は近い将来の人材確保につながると思われた。

コロナ禍で看護職が感じている思いをテーマとし、感染の拡大期も減少期も看護の役割・期待が大きいことを実感した。そして多職種との連携や市民の協力や応援の大切さを再確認することができた。

「看護の日」は5月12日であることから、5月が望ましいと感じた。次年度の開催は感染状況を踏まえ5月開催（オンライン等）が可能な案を検討されたい。

5 委員 7名

(看) 牛ノ濱千穂子 岡野洋子 良知雅美 宮城島静代 笠井倫世 齊藤博子 増田伊佐代
(担当理事) 松井順子